

## 第81号

2009年6月23日発行  
栃木障害者の自立をめざす会  
会長 小島 幸子  
事務局：〒328-0003  
栃木市大光寺町 347-2  
Tel 0282-29-6111

# はばたけ

私たちは障害者が生まれた地域で生き生きと働き生活していける村作りをめざします。

## 会長 あいさつ

小島 幸子

梅雨の時期を迎えていますが、会員の皆様は、お変わりありませんか？今年度の総会も栃木市の石橋副市長をお迎えし、執行部提案の議事が承認されました。ありがとうございました。大きなテーマである、自立の会の今後のあり方について早速具体的な話し合いに入っています。

先日は、山車会館前のイベントに出店したなすびの里の応援を行いました。なすびの里のおいしくてコシのあるうどん、バターたっぷりおいしいラスクは、すっかり皆さんにお馴染みになっていて嬉しい限りです。

栃木市内、街づくりでいろいろなイベントが行われていますが、そこに普通に障がいのある人がいるべきだと思います。お客さんとしてだけでなく、お店の人として。例え、接客がたどたどしくてもおつりの計算が誰かの支援がなければ難しくても。世の中にはいろんな人がいるんだということを多くの人に知ってもらいたいです。障がいのある人もそして高齢者の人も暮らしやすい栃木市であって欲しいと願いますし、それを口先だけでなく実践していく自立をめざす会でありたいと思います。

先日、あるお店でなすびの里のパンを購入しました。レジの方から「とても人気ですぐ売れすぎてしまうんですよ」ととっても嬉しい言葉をいただきました。原材料の高騰で価格は、高くなりましたが、それでもおいしいと買っていただいている方のご期待に添えるように職員の皆さんには頑張ってもらいたいし、縁の下力持ちとして、自立の会も頑張りたいと思います。

## 第23回定期総会開催される

谷田 美佐子

風薫る4月29日、栃木市より石橋副市長、トータルサポートセンター課長補佐茂木氏、なすびの里からは殿塚理事長を来賓にお迎えして、第23回栃木障害者の自立をめざす会定期総会が開催されました。

議事に先立ち小島会長からは、なすびの里創設以来本会の活動が低迷しているが、障がいを持つ人たちがどんどん地域に出て生活できるようになるためにも本会の持つ役割はより重要になっていると思われ、今後もなすびの里の後援会として精一杯バックアップしたいとの挨拶がありました。

続いて石橋副市長からは、国では自立支援法の抜本的改正を審議している中、栃木市としても当事者からの聞き取り調査を基に障害者福祉計画が3月に完成した。今後もさらなる福祉の充実をめざしたい旨のご挨拶がありました。また殿塚理事長からは、本会からの寄付に対する御礼の言葉があり今後とも施設、保護者、自立の会が一体となって施設発展のために力を合わせましょうというご挨拶もありました。

議事に入り、近年の会員減少、会費納入率の低下、役員を含めた活動家の減少等は役員の学習不足に原因するところが大きく、今年度は自立をめざす会やなすびの里の設立趣意書を改めて読み起こし学習を通して自立の会の在り方を再度考え直そうという会長の力強い決意が述べられました。会員からはきょうせん物品販売の在り方についての意見が出され、今後物品販売促進会議で検討することとなりました。

すべての議案が賛成多数で可決後、いよいよ皆さんお待ちかねのバーベキュー大会になりました。素晴らしい天気誘われ、テーブル・イスをウッドデッキや庭に並べ、お腹を満たしながら思い思いの話に花を咲かせ楽しいひと時を過ごすことができました。

繰り返しになりますが、今年度は自立の会の在り方について役員会でじっくりと議論を重ね機関紙「はばたけ」において皆さんにご報告したいと考えています。会員の皆さんからも忌憚のないご意見をお聞かせ願えればと思っています。

## 自立の会役員会報告

第23回定期総会では、近年自立の会の活動自体が低迷していることをふまえ、今年一年その原因と問題点を明らかにし、多くの議論の中から当会の今後の進むべき道を検討していくことを事業計画の柱としました。

5月16日に今年度一回目の役員会を行い、今後の自立の会のあり方について討議を始めました。

まずは現状の報告として、会員数が2004年度の294名をピークに年々減少し今年度は228名であること、会費の納入率が昨年度で正会員40%、賛助会員20%、協力会員26%であることなどが報告されました。また、収益事業についてもコンサートや絵画展など大きな事業を行った年は300~400万円の事業収益を計上していましたが、昨年度は14万円あまりだったことや、イベントへの参加も年々減少しているが昨年行った自立の会独自の事業はクリスマス会だけで、コンサートは2002年、ダンスパーティーと旅行は2003年を最後に企画されていないことまた、学習会も2004年に全障研との共催で行ったのが最後であることなども報告されました。

これらの現状を踏まえ、何が原因なのか、また今後どうしたらよいか役員会の中で議論していく予定です。第一回の役員会ではいくつかの提案のもと、「現状を容認した上で活動の縮小もやむをえないのでは」という意見や「自立の会の設立趣意書や法人の設立趣意書に立ち返りもう一度運動の再構築を」という意見、また「法人の後援事業に特化してみてもは」となど個々の役員から自由に意見を出してもらいました。これから、一年をかけて具体的な討議をして今後のあり方について提案していきたいと思えます。

会の設立当初からご支援いただいている会員の皆様方や、日々事あることにご協力いただいている会員の皆様方にはご心配をおかけし大変申し訳ありません。現状を招いた一番の原因は組織運営であることを役員一同肝に銘じながら、この議論が閉ざされたものとならないよう、広く会員の皆様方の意見をお聞かせいただければ幸いです。また、はばたけ等を通して随時ご報告したいと考えています。

# 収益事業報告

人形まつり 5月 5～ 6日 4,744円  
(いちごシャーベット)

栃木県名産物の地大博覧会 6月13～14日 12,265円  
(イチゴシャーベット・かりかりパスタ・揚げギョウザ)

## 今後の行事予定

6月20日(土) 第2回役員会

8月1日(土)・2日(日) 栃木サマーフェスタ

(8月のサマーフェスタには、なすびの里も出店します。お手伝いいただける方募集中!)

## きょうされん夏の物品販売

自立の会では今年も、きょうされんの物品販売に積極的に取り組んでいきます。自立の会では、小規模作業所から法人施設建設の資金づくりのため、また現在ではなすびの里の支援のため、この物品販売を資金づくりの重要な活動と位置付けています。

2年前から、法人職員・保護者会・自立の会の三者で販売促進会議を設け、その活動の輪を広げているところです。収益金は、仲間自治会の意向を尊重しながら100%利用者のために使わせていただきます。また大きな視野に立つと全国の作業所を支援していく運動でもあります。

今回夏の物品販売のパンフレットを同封しましたので、趣旨をご理解の上是非たくさんの会員のみなさん方のご協力をお願いいたします。

第一次締め切り：6月30日

第二次締め切り：7月15日

注文先：谷田 美佐子(自立の会事務局員) fax：0282-23-9454